

『アニマルズ・アズ・リーダーズの楽曲における複雑なリズムパターンについて』

大久保 真由（東京芸術大学 音楽学部 楽理科 2014年度入学）

## 概要

近年、インターネットの発信を中心に、ジェント Djent と呼ばれる音楽ジャンルが人気を集めている。これはヘヴィ・メタルの派生ジャンルであるプログレッシブ・メタルの影響を強く受けていると言われていた。インターネットでのコミュニティを中心に発展を重ねてきた新たな音楽ジャンルである。ただし、インターネットを中心に興隆したジャンルということもあり、その定義は未だ曖昧であり、先行研究や資料の蓄積も少ない。本来ジェントという単語自体は、スウェーデンのバンド、メシュガー Meshuggah によってつくられた造語である。ギターのリフを弾くときの特徴的なサウンドに対して付けられた擬音語であった。音楽ジャンルとしてのジェントに分類されている多くのバンドに共通して見られる特徴は、先に述べたような特徴的なサウンド、低音にチューニングされたギターの使用、そして楽曲における複雑なリズム構造の登用など複数の要素が挙げられる。このような要素を満たした代表的なバンドの一つに アニマルズ・アズ・リーダーズ Animals as Leaders というバンドが存在する。ワシントンD.C.を拠点に活動するバンドであり、ギター2人、ドラム1人の3人構成で、楽器のみの演奏で構成されている。

本論文は、アニマルズ・アズ・リーダーズが楽曲で用いたジェント的なリズムパターンに着眼し、複雑なリズムを用いた楽曲的工夫が施されている点、及び、それが聴取の際にもたらす影響を明らかにすることを目的としている。

第1章では楽曲分析の前段階として、先行のリズム研究をめぐる状況を整理し考察を行った。依田翔、小野貴史『ポリリズムの類型における楽理的分析』(2016)を先行研究として参照した。依田・小野は「ポリリズム」という用語の定義が曖昧であることを指摘し再定義を行った。そして「ポリリズム」の下位概念である「ポリメトリック」という用語についても整理を試みた。これらの考察を再検討しながら、併せてリズム研究における問題点と現状を確認した。さらに榊原彩子『音楽の繰り返し聴取が快感情に及ぼす影響：リズムパターンの冗長性とハーモニーの典型性』(1996)で明らかにされた研究結果を概観した。榊原の研究結果と依田・小野の考察を織り交ぜながら「ポリメトリック」を楽曲に用いることの効果について考察した。

第2章では、ジェントという単語の定義を整理することを試みた。web上で読める英語圏の記事を参考にしつつ、ジェントというジャンルの音楽的特徴や影響を受けた他の音楽ジャンルの整理を行った。

第3章では、アニマルズ・アズ・リーダーズの楽曲『Kascade』を取り上げ、冒頭で登場するドラムのリズムの特徴について分析した。第1章で明らかとなった「ポリメトリック」の特徴に一致していることを指摘し、「ポリメトリック」の使用による影響を踏まえ、楽曲に施されているリズムパターンについて考察した。